

訪問介護員 3 級講習 講義

ホームヘルプサービスに関する知識と方法

・・・ホームヘルプサービス概論・・・

様式 1

3 級ホームヘルパー講習

4

介護サービス

実施期間 平成 年 月 日 () から
平成 年 月 日 () まで

氏 名

項目種別	G2 介護サービスに関する知識	課題名	ホームヘルプサービス概論
	時間数(時限)	3	
担当指導員		講師名	先生
<p>訓練内容</p> <p>在宅介護を行う上で必要な基本的な知識と態度について学びます。 ホームヘルパー(在宅介護)の介護サービスについて学びます。 お医者さんや看護婦さん等、いっしょに働く人の仕事の内容を学びます。 在宅介護や家事を行う上で必要な基本的態度を学びます。 介護者としてやってはいけないことは何かを学びます。(倫理) お年寄りの人権・プライバシーを守ることにについて学びます。</p>			
<p>訓練目標</p>			
<p>準備するもの</p>			
<p>訓練後の感想</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>			
<p>指導員の感想・評価</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>			

< 講義内容 要旨 >

ホームヘルパーとは？

10年前まで

1990年頃

病人

障害者のお世話・・・看護婦さん

高齢者 家政婦さん

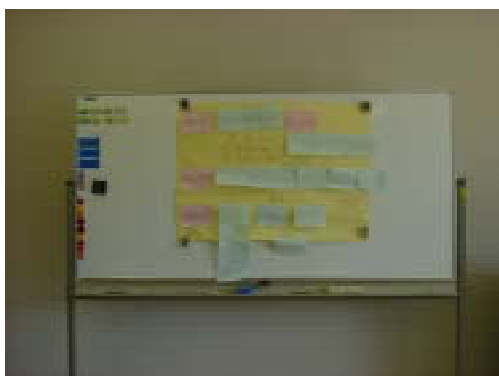
家事・医療行為以外のお世話

➤ 介護 (訪問介護員の資格が出来る)

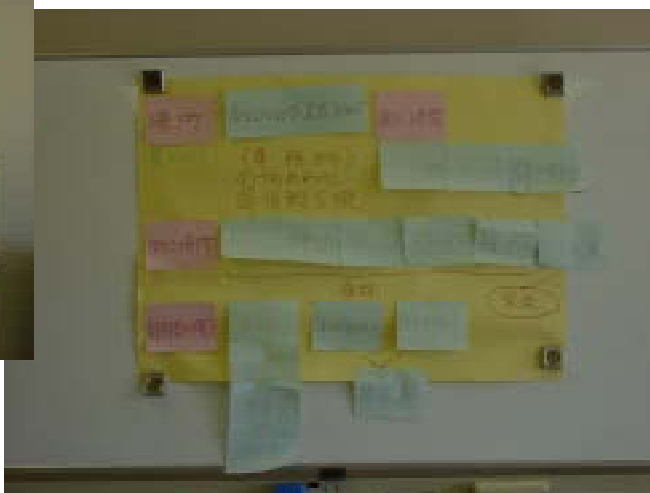
以前は看護婦さんや家政婦さん、家庭では奥さんや娘・嫁が行っていた、寝たきりのお年寄り、障害を持った人のお世話をする仕事を、10年程前から訪問介護員（ホームヘルパーとも言う）の資格が出来て、専門的に行うようになってきた。

< 講義の進め方 >

質問ごとに模造紙と回答用紙を用意し、それぞれの質問の答えをカードに記入させる。記入した内容を説明を加えたり、コメントを引き出させながら分類していく。



ホワイトボードに模造紙を貼る



< 設問 1 >

カードの答えを分類しながら貼っていく

ホームヘルパーの仕事場(出勤する場所)はどこ？

ヘルパーステーション 施設

(事務所)

引継ぎ・打ち合わせ

スケジュール確認

訪問先に関する情報収集

書体変化 ・ 訓練生の回答
・ 補足説明

< 設問 2 >

ホームヘルパーの働く場所は？

施設（老人ホーム・病院等）

利用者の家（家庭）

出勤先と仕事の場所が違う
訪問介護員と 在宅介護
施設職員 施設介護
の違いがわかる？

<設問3>

働く時間は？

施設で働く場合	普通は8時間	7～8時間
	夜勤もある	10時～15時
訪問介護の場合	30分～1時間単位の組み合わせ	
	決まっていない（移動時間含め数件廻る）	
	昼間も夜もある	昼間

<設問4>

利用者とはどんな人達？

お年寄り	
高齢者	
老人	
身体の不自由な人	障害者
寝たきりの人	（若い人もいる）

<設問5>

家族の様子は？

一人暮らし（独居老人）	ボケ
高齢者夫婦のみ	父母妹
家族と同居	様々で同じ家庭は無い

<設問6>

仕事の内容は？

【訓練生回答例】

身体介護に関すること

寝たきりの人の介護
 歯磨き
 身体を拭く
 入浴
 車椅子を押す
 車椅子に乗せる

家事に関すること

ベッドメイク
 洗濯
 食事の介助
 アイロン掛け
 掃除
 調理
 リネン
 買い物

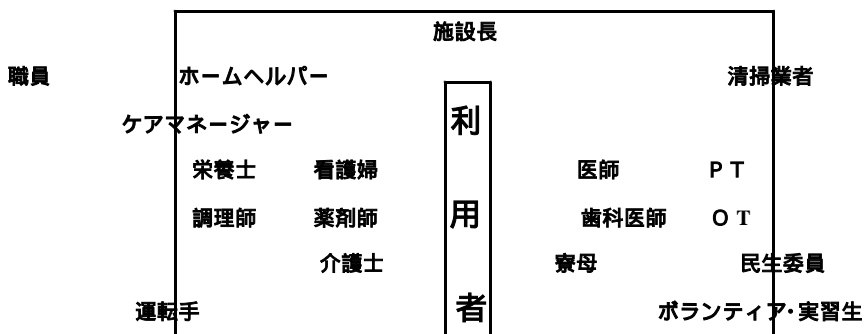
相談・援助に関すること

散歩
 声かけ
 コミュニケーション
 掃除+コミュニケーション

<設問7>

ホームヘルパーと一緒に仕事をする人は？

まず、施設の中では・・・ **職員** 看護婦 医者 歯科医師 調理する人
 掃除する人 事務の人 ホームヘルパー



<設問7> 声かけ

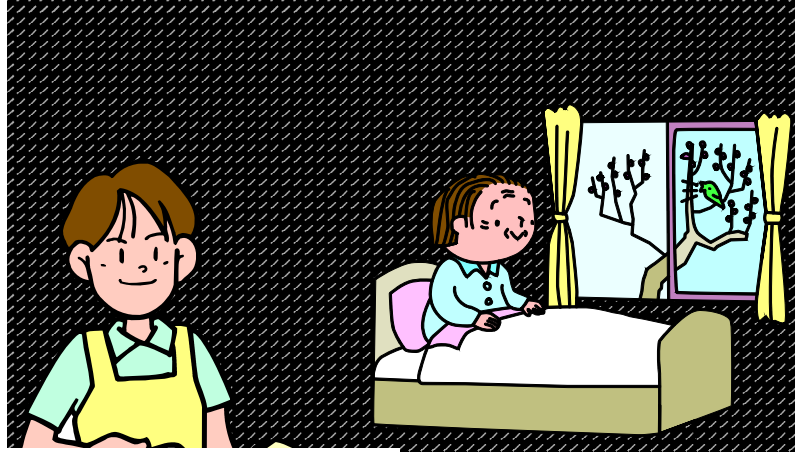
掃除のため入室したところお年寄りが窓を眺めていました。
この絵を見て、どんなことを思い、どんな言葉をかけますか？

観察のポイント

環境のこと

心の中のこと

身体の状態



© MPC

人格の尊重

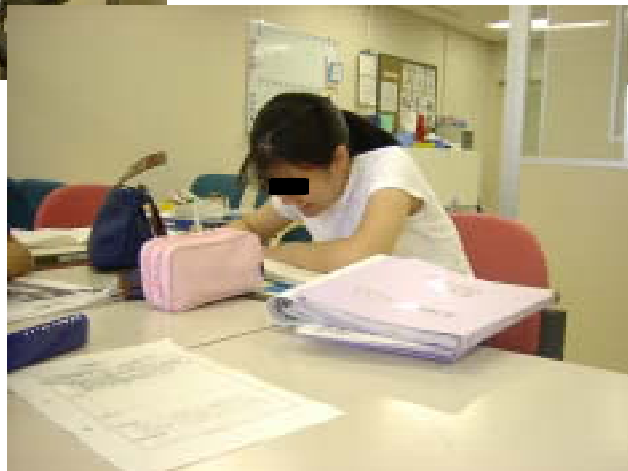
呼ぶときは名前を！

(おじいさん・おばあさんはだめ)



全体を一度に見れるように
身体のこと
心の中(心理状態)
環境のこと(周りの様子)

最初の印象を大切に！



訪問介護員 3 級講習 講義

ホームヘルプサービスに関する知識と方法

・・・サービス利用者の理解・・・

様式1

3級ホームヘルパー講習

5

介護サービス

実施期間 平成 年 月 日()から
平成 年 月 日()まで

氏名

項目種別	G2 介護サービスに関する知識	課題名	サービス利用者の理解
	時間数(時限)	3	
担当指導員		講師名	先生
<p>訓練内容</p> <p style="margin-left: 20px;">お年寄りや障害者の心と身体について学びます。 年をとることで起こる心と身体の変化について学びます。 お年寄りの居る家族の生活について考えてみましょう。 障害をもつ人達の生活や思っていることについて考えましょう。 お年寄りや家族の方にどのような事をしてあげればよいか考えましょう。</p>			
<p>訓練目標</p> 			
<p>準備するもの</p> 			
<p>訓練後の感想</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			
<p>指導員の感想・評価</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			

< 講義内容 要旨 >

ホームヘルパーとして訪問するお宅にはどんなひとがいるでしょう？
お年寄り 障害者

自分の身近なお年寄りについて考えてきましょう

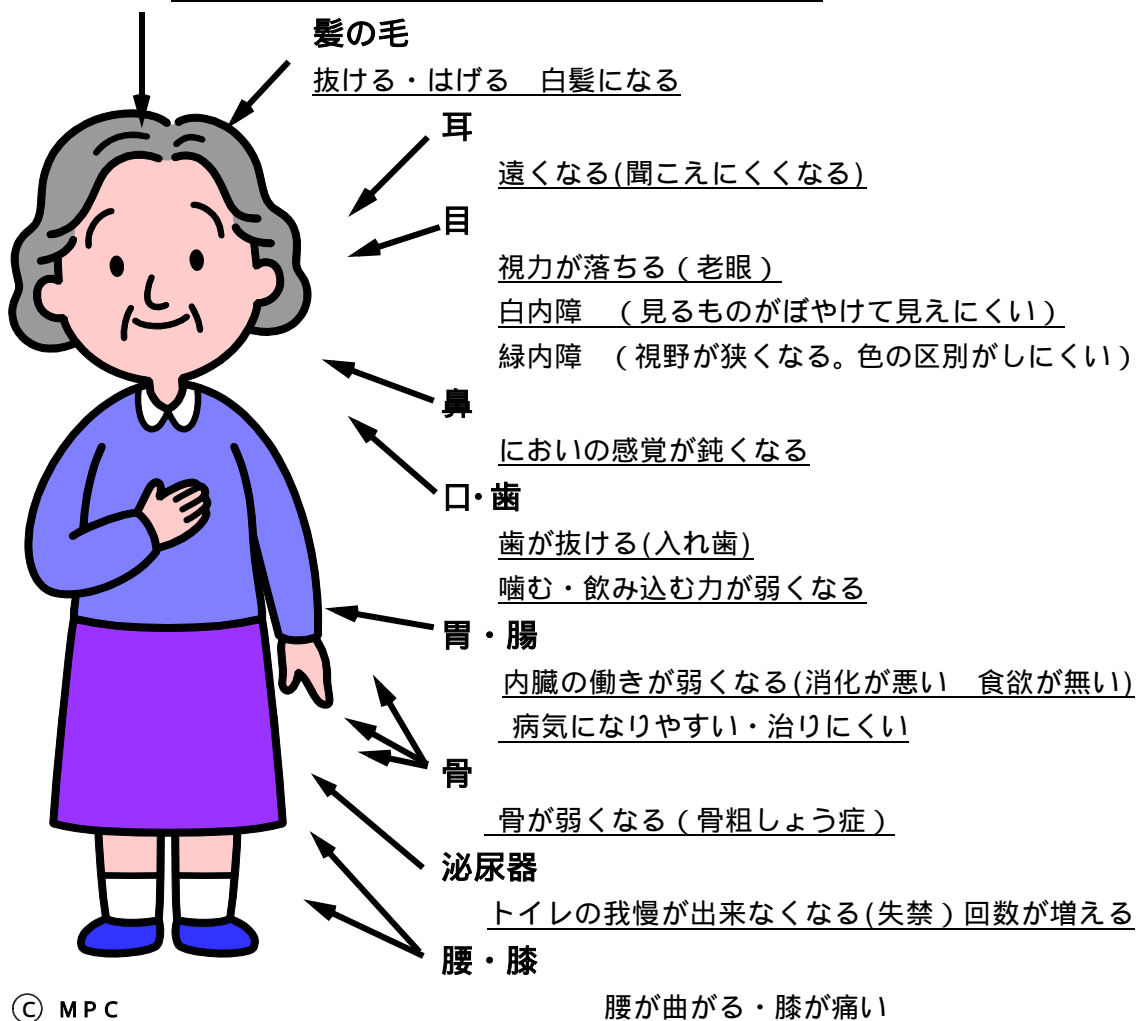
* 身体の変化など、お年寄りについてどんな事を思い浮かべますか？

- ・ 腰痛・骨が弱くなる
- ・ 足にくるって言っています(同居の祖母)
- ・ 肩こり・腰・杖をついている人

老化・・・心身の変化について考えてみましょう

脳 (考える・記憶するところ)

忘れっぽくなる・自分で考えられなくなる(痴呆)



© MPC

高齢者疑似体験

自分が80歳だと想定して、日常の動作を行ってみましょう。どのように感じるか感想を話してください。

視野狭窄 白内障 全盲体験



ゴーグルの種類も様々ある。
かけ比べて見え方の違いを体感する。
ゴーグル・アイマスクをつけたまま動いたり
本を読んだり、箸やスプーンを使ってみて、
普段の行動と比較させる。

高齢者疑似体験セット



ひじ・膝・腰を固定し動きを拘束したり、錘
をつけて動きづらくさせる。
指先の動きを制限するために手袋をつける。

装着後、動きの中でどのように大変かをその
都度聞き取り記録しておく。



装着 廊下 エレベーター 階
段下り 階段上り 教室 ベランダ

扉の開閉 ・ トイレ ・ 電話 ・ ペットボ
トルのふた開閉 ・ 新聞めくり ・ お金の
出し入れ ・ 洗濯物干しなど様々な状況を
体験してみる。



高齢者疑似体験の感想

- ・ 階段の下りが怖い
- ・ 膝が曲がらず、痛かった。
- ・ いつもよりスピードが遅い。腕や足が痛かった。
- ・ 階段を下りるのに早くできずゆっくり下りた。

心の変化についても考えてみましょう

高齢者体験 ひとつひとつの動きに苦労する（思うように動かない）ゆっくり。

意欲・やる気が減少

声かけ・介助の仕方を考える

時間がかかる

待つ姿勢

お年よりのペースに合わせる

身体の変化からくる心の変化

身体が自由に動かない

外出が減る

社会から離れる

刺激・情報が減る

寂しい

知人・友人が亡くなる

目や耳が悪くなる

本や新聞が読めない

家族との話しに入れない

家族の声かけが少なくなる

疎外感

病気・障害がある

自分の役割が出来ない。無くなる

家族の負担が増える

ストレス

ホームヘルパーの役割は？

利用者の方達の身体や心の状態をよく観察し、理解するようにしましょう。

家族がどのような思いでお世話しているかを良く考えましょう。

どのような介護をして欲しいか、お年寄りの立場になって考えましょう。